

2016年度第11回執行理事会議事録

期日：2017年5月13日（土）13:00～16：30

場所：地質学会事務局

出席者：渡部会長 山本副会長 齋藤常務理事 緒方（早退）岡田 小宮 坂口 辻森 中澤 杉田 内藤 廣木 西（事務局）橋辺

欠席者（委任状提出あり）：松田副会長 田村 平田 山田 安藤（委任状なし）

*定足数（12、委任状含む）に対し、出席者13名、委任状 4名、合計18名の出席。

*前回議事録の承認をした。

I 審議事項

1. ジオルジュの出版について

今年は後期号も出すが、広報誌のあり方を含めて戦略を見直す。編集委員会からの改善策を6月執行理事会で提案する。継続審議とする。

2. 札幌大会の日程及び会場について

LOCから会場と日程の検討結果が提案された。これまで前例のない土日設定がない日程について審議の結果、処々の事情を勘案してやむを得ないとの判断をし、提案通り北海道大学にて9/5（水）から7（金）の日程で進めてもらうこととした。平日開催に伴う各種調整をLOCに依頼する。

3. 総会資料および運営の確認

議事次第の詳細を検討した。今年は総会後の理事会は開催されない。

II 報告事項

1. 全体的報告

- 子ども夢基金の事業の現状報告（小宮）
審査の結果1000万円が採択され、教材開発に向けての詳細な詰めを業者と開始した。助成金仮払い請求後および最終的に確定までの予算執行、立替支払い等について検討中。
- 4/8の理事会の議論をうけて、各支部長に対し巡検時の車両の使用制限について周知した。会員からいくつか意見を頂いた。
- 地球惑星連合総会および学協会長会議（5/23）の開催、会長が出席。
- 運営財政部会：総務委員会（緒方・西）
<共催・後援依頼、他団体の募集等>
 - 2017年度日本地球化学会第64回年会（9/13-15）の共催依頼を承諾した。
 - 日本科学技術振興財団より「青少年のための科学の祭典2017」（2017/6/11-2018/1/28、全国76会場）の後援依頼を承諾。また、青少年のための科学の祭典2016の事業報告があった。
 - 「原子力総合シンポジウム2017」の共催・協賛・後援依頼があり後援とすることにした
 - 「OCEANS' 18 MTS/IEEE/KOBE-TECHNO-OCEAN' 2018」（2018/5/28-

- 隔年日本開催の協賛依頼があり承諾した。
- 今年度、国際賞受賞者Dr.Fiskeを迎えて開催する「海底火山研究国際シンポジウム（仮）」（主催 科学博物館）の共催の打診があり承諾した。
- 高校生技術チャレンジJSEC2015の実施報告：国内ファイナルを国際大会に派遣
- 住友財団2017年度基礎科学研究助成、及び環境研究助成の募集案内（4/15-6/18） ← News誌、geo-flash、HPに掲載
- 石灰石鉱業協会（会長竹内章）より役員交代の挨拶
- 産総研地質調査総合センターより幹部交代の挨拶
<会員>
 - 今月の入会者（1社、19名）
賛助会員（1社）：株式会社地圏総合コンサルタント
正会員（4名）：ルグラン ジュリアン、吉本佳太、谷健一郎、中村佳菜絵
院割（13名）：三浦光隆、杉本大志、田谷野智世、田子直樹、菖蒲一歩、サルカール デュティ プラカシエ、迫田夜空、長岡昂吉、原田英和、鈴木 俊、坂田純浩、ナドミド バヤルド、賈 遼
学部割（2名）：庄崎弘基、山岡 健
 - 今月の退会者（2名）
安藤生大 相蘇親雄
 - 2017年4月末日会員数
賛助：27、名誉：56、正会員：3572（正会員：3540、正（院割）会員：118、正（学部割）会員：4）合計 3655（昨年比-54）
<会計>
 - 愛媛大会に際し、松山コンベンション観光協会へ70万円の助成金を申請手確定したが、市からの要請で愛媛県にも提出をとのことで、市に50万円、県に20万円を変更申請した。
 - 2016年度決算について
先に提出した決算概算では、単年度収支はわずかにプラスとなっていたが、会計的な処理として当年度発生支払金の未払い処理を行った結果、数字はマイナスに転じた。この処理は今期のみのことである。
 - 広報部会：広報委員会（坂口・小宮・内藤）
 - 東日本大震災6年目の会長声明をプレスリリースした。
 - ジオルジュ 2017前期号出版、メルマガ、ニュース誌も順調に出版。
 - 学術研究部会（岡田・山田）
 - 行事委員会（岡田）
 - 札幌大会日程について → 審議事項
 - 国際交流委員会（井龍）特になし
 - JIS、標準担当（中澤：代齋藤）
 - JIS原案作成委員会メール審議開始を予定。
 - その他
 - 編集出版部会（中澤・田村・小宮）

- 地質学雑誌編集委員会（山路編集委員長、中澤担当）
 - 編集状況報告（5月1日現在）。
 - 2017年投稿論文 40編〔総説15（和文15）・論説10（和文10）・報告7（和文6、英文1）
ノート1（和文1）・講座1（和文1）・巡検案内6〕、査読中：53、受理済み：14（うち特集5）
 - 123巻4月号：125周年記念特集号「深海掘削計画（IODP）10年の成果IおよびII」85ページ（4/29発送済み）
 - 123巻5月号：特集号「水蒸気噴火研究の展開」+通常原稿2編 約80ページ（校正中）
 - 123巻6月号：125周年記念特集号「構造地質学の最近25年（1部）」+通常原稿1-2編 約90ページ（入稿準備中）
 - 今後、特集号に通常の投稿論文が加わるので100ページを超える号があるかもしれない。
 - アイランドアーク編集委員会（田村）
 - 編集状況
Vol.26 Issue2（2017年3月）：一般原稿6編
Vol.26 Issue3（2017年5月）：井龍特集号5編 一般原稿6編（計約88ページ）予定
 - オンライン投稿の状況
過去半年（2016.11.1～2017.4.28）の投稿数32件。うち新規投稿25件。
 - 企画出版委員会（小宮）特になし
 - 社会貢献部会（平田・杉田・廣木・辻森）
 - 街中ジオ散歩に55名（一般50名+会員5名）応募があり、厳正に抽選の結果30名（大人のみ、4グループ8名を含む）の参加者を決めた。
 - ジオパーク支援委員会（平田）
 - 2018年度地震火山 こどもサマースクール開催地公募結果 = 「募集期間中に応募なし」
 - 地学オリンピック支援委員会（平田）とくになし
 - 地質災害委員会（松田達生）とくになし
 - 地質技術者教育委員会（山本）
 - 5/26 JABEEの総会に山本が出席予定
 - 125周年記念事業実行委員会（緒方、渡部）
 - 来年の式典会場：5月18日（金）北とびあつつしホール、祝賀会：東部サロン
 - 会員カード作成のため、会員にローマ字表記の確認広報をする予定（geo-flash, News誌）
 - 県の石支援委員会（辻森）
 - 出版編集状況：各県原稿が提出されつつある。出版社と検討し、レイアウト見本を作成する。イラストレーターとの打ち合わせも済み、全体として順調。
- 2017年6月24日
一般社団法人日本地質学会執行理事會
会長（代表理事） 渡部芳夫
署名人 執行理事 齋藤 眞